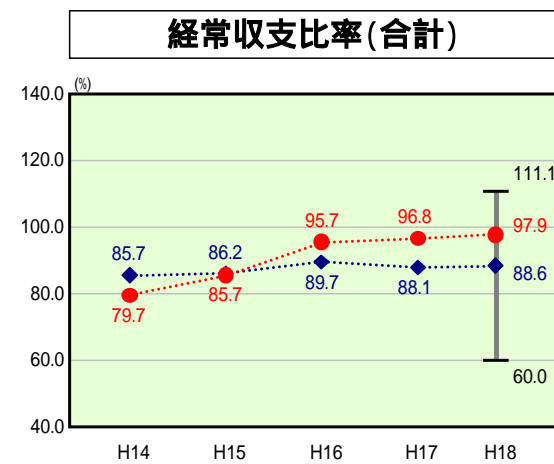


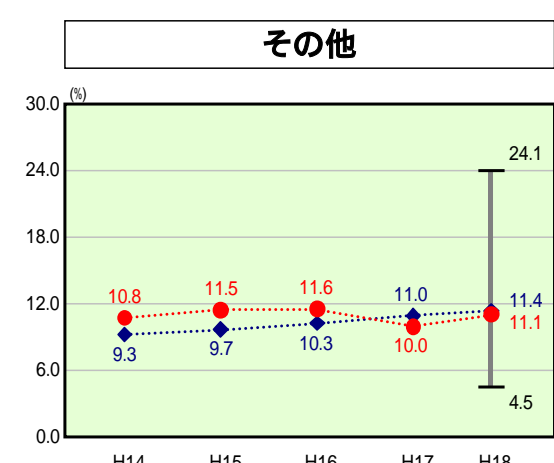
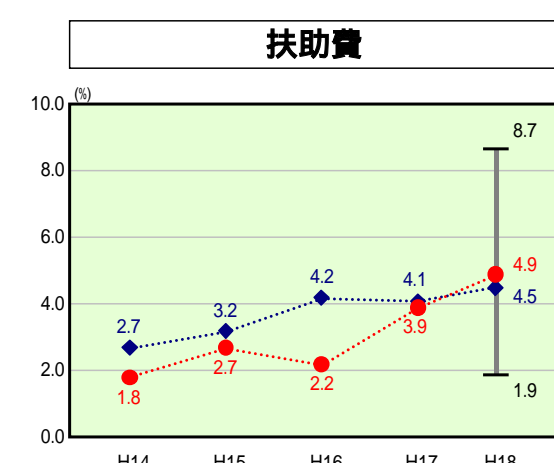
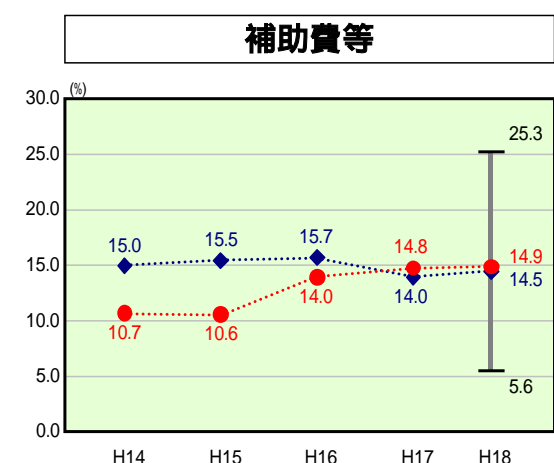
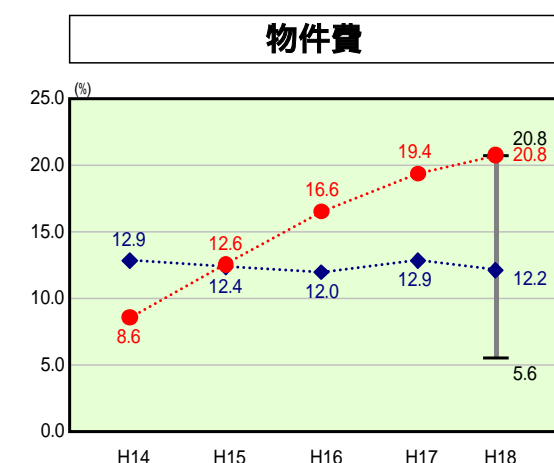
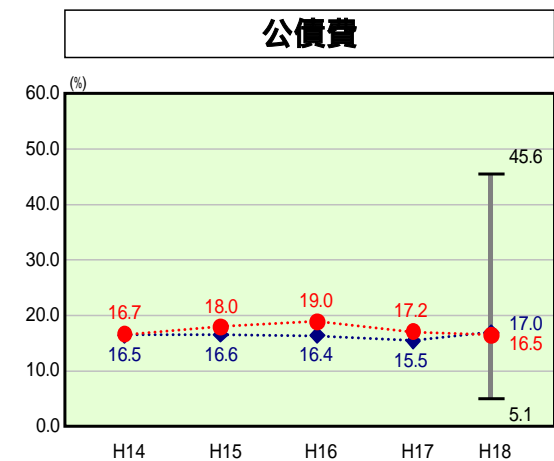
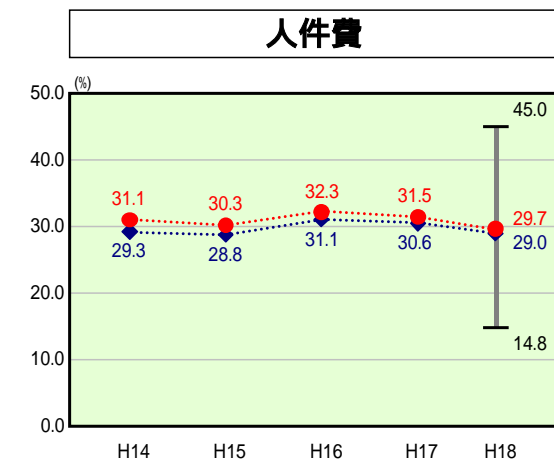
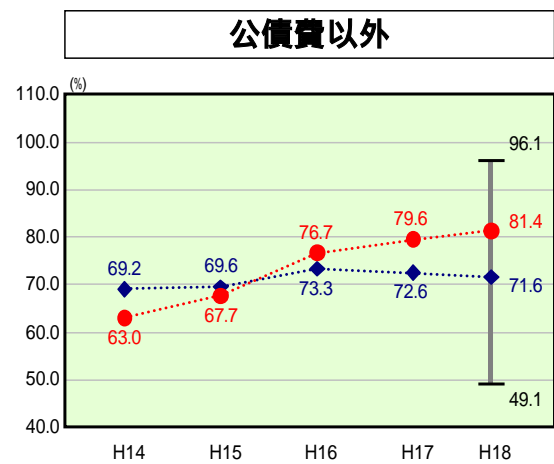
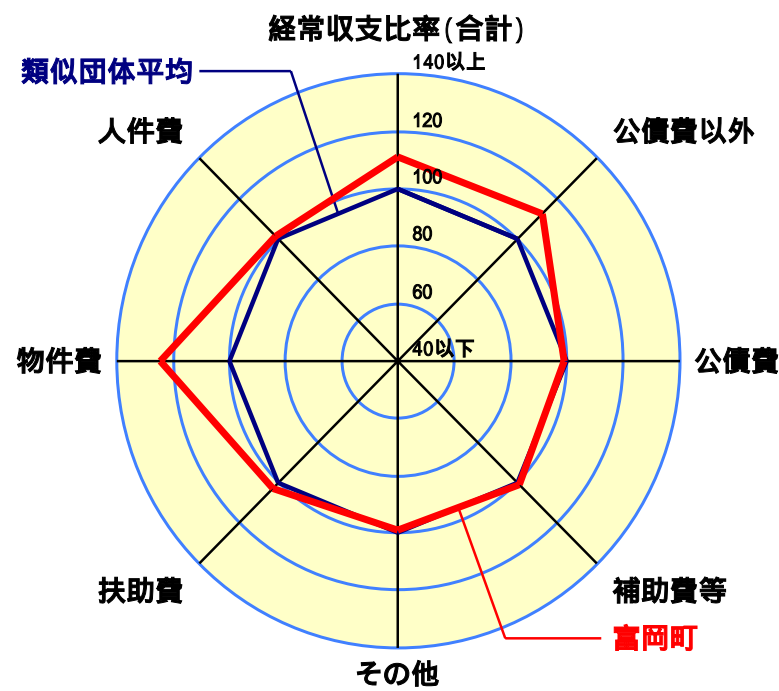
歳出比較分析表(平成18年度普通会計決算)

福島県 富岡町

経常収支比率の分析



| | |
|------|-----------------------|
| 人口 | 15,926人(H19.3.31現在) |
| 面積 | 68.47 km ² |
| 歳入総額 | 7,194,920千円 |
| 歳出総額 | 6,984,625千円 |
| 実質収支 | 210,295千円 |



- 本レーダーチャートは、当該団体と類似団体平均値より算出した偏差値をもとにチャート化したものである。(偏差値は平均を100としている。)
- 当該団体の八角形が平均値の八角形より内側にあるほど、歳出抑制等により財政構造に弾力性があることを示している。
- 類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

分析欄

人件費
 類似団体と比較すると、人件費に係る経常収支比率は若干高くなっている。要因としては、委員等の報酬や事業費支分に係る職員の人件費である。なお、富岡町では第三次行政改革大綱を平成20年度策定予定であり、平成21年度には行政大綱を反映させた当初予算を作成し、人件費の抑制に努める。

物件費
 物件費に係る経常収支比率は類似団体中一番高くなっている。要因としては、指定管理者制度によりリフレ富岡、体育館を代表とする体育施設、総合福祉センター等を委託しているためである。平成21年度は指定管理者の再契約時期にあたるため、入札等により歳出削減に努める。

扶助費
 類似団体と比較すると、扶助費に係る経常収支比率は若干高くなっている。要因としては単独事業の老人福祉費、児童福祉費が高くなっている。そのため平成21年度には行政大綱を反映させた当初予算を作成し、扶助費の抑制に努める。

公債費以外
 公債費以外に係る経常収支比率は類似団体のなかで比較的高くなっている。要因としては公共下水道事業等の特別会計に対する繰出金であり、繰出金の主な要因は公営企業債の償還の財源に充てられている。公営企業経営健全化計画の通り、今後の起債を制限し、計画的な償還を行うことにより繰出金削減に努める。

公債費
 類似団体と比較すると、公債費に係る経常収支比率は低くなっている。要因は公債費負担適正化計画の通り起債を制限しているためであり、今後も起債を抑制し公債費の削減に努める。

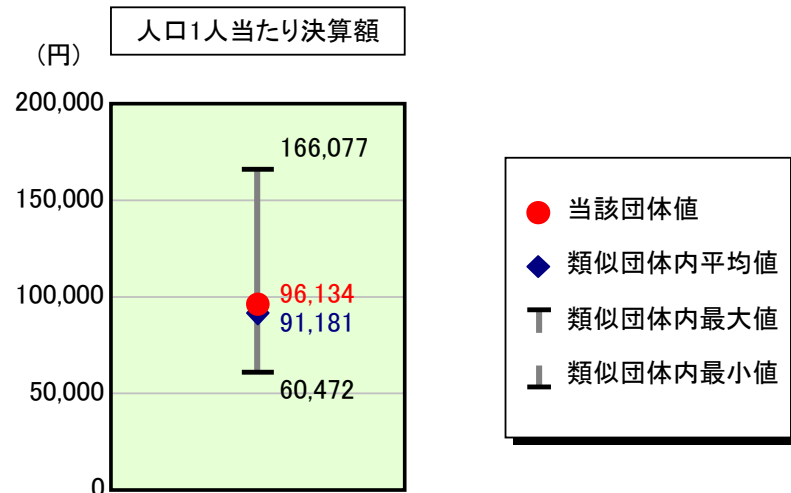
補助費等
 類似団体と比較すると、補助費等に係る経常収支比率は若干高くなっている。主な要因は一部事務組合に対する負担金が類似団体と比べ高くなっているためであり、今後とも経費削減を双葉地方広域市町村圏組合に求めていく。

その他
 類似団体と比較すると、その他に係る経常収支比率は若干低くなっている。そのため平成21年度には行政大綱を反映させた当初予算

歳出比較分析表(平成18年度普通会計決算)

福島県 富岡町

人件費及び人件費に準ずる費用の分析



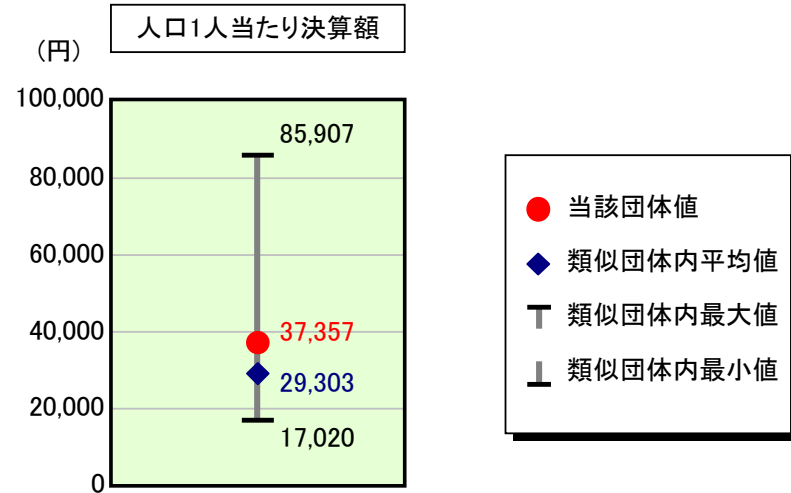
人件費及び人件費に準ずる費用

| | 当該団体決算額 (千円) | 人口1人当たり決算額 | | 対比(%) |
|-------------------------------|-----------------|------------|-----------|-------|
| | | 当該団体(円) | 類似団体平均(円) | |
| 人件費 | 1,239,015 | 77,798 | 76,495 | 1.7 |
| 賃金(物件費) | 44,576 | 2,799 | 4,744 | 41.0 |
| 一部事務組合負担金(補助費等) | 263,213 | 16,527 | 11,824 | 39.8 |
| 公営企業(法適)等に対する繰出し(補助費等) | - | - | 336 | - |
| 公営企業(法適)等に対する繰出し(投資及び出資金・貸付金) | - | - | 0 | - |
| 公営企業(法非適)等に対する繰出し(繰出金) | 57,940 | 3,638 | 3,430 | 6.1 |
| 事業費支弁に係る職員の人件費(投資的経費) | 50,808 | 3,190 | 1,451 | 119.8 |
| 退職金 | 124,522 | 7,819 | 7,099 | 10.1 |
| 合計 | 1,531,030 | 96,134 | 91,181 | 5.4 |

参考

| | 当該団体 | 類似団体平均 | 対比(差引) |
|-------------------|------|--------|--------|
| 人口1,000人当たり職員数(人) | 8.41 | 8.39 | 0.02 |
| ラスパイレス指数 | 96.9 | 95.1 | 1.8 |

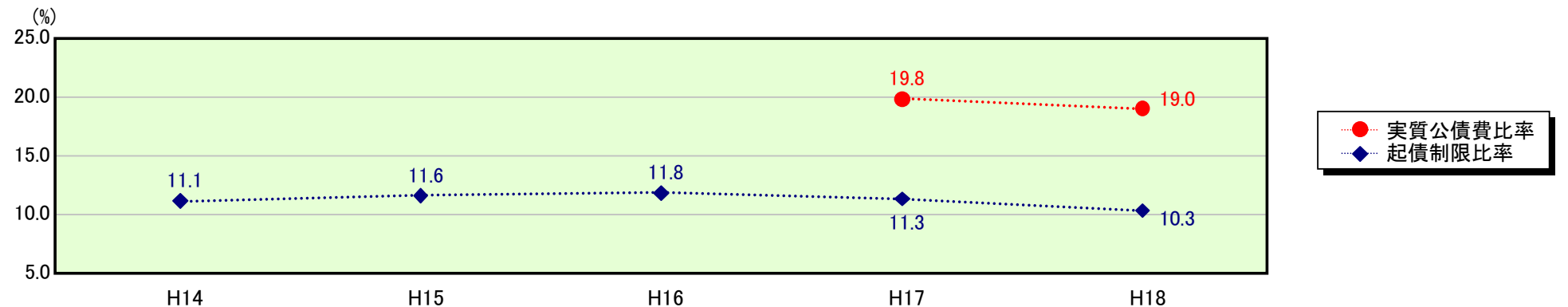
公債費及び公債費に準ずる費用の分析



公債費及び公債費に準ずる費用(実質公債費比率の構成要素)

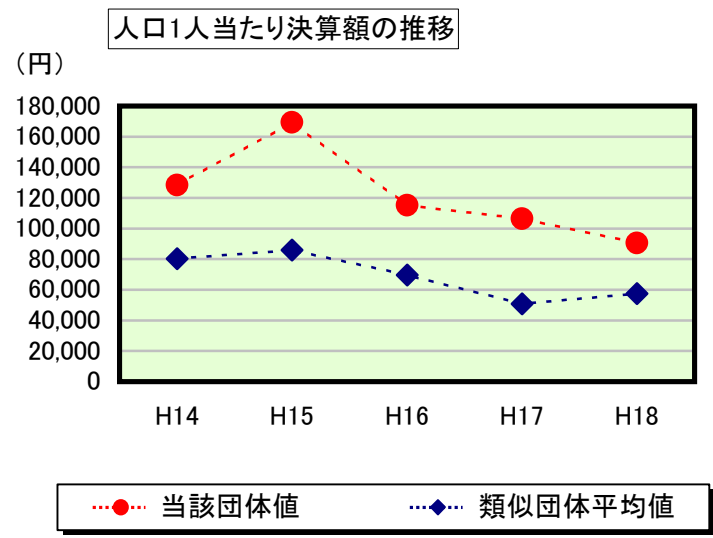
| | 当該団体決算額 (千円) | 人口1人当たり決算額 | | 対比(%) |
|--|-----------------|------------|-----------|-------|
| | | 当該団体(円) | 類似団体平均(円) | |
| 公債費充当一般財源等額 (繰上償還額及び満期一括償還地方債の元金に係る分を除く。) | 644,004 | 40,437 | 41,239 | 1.9 |
| 満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還金に相当するもの (年度割相当額)等 | - | - | - | - |
| 公営企業債の償還の財源に充てたと認められる繰入金 | 478,948 | 30,073 | 11,591 | 159.5 |
| 一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる補助金又は負担金に充当する一般財源等額 | 89,948 | 5,648 | 6,528 | 13.5 |
| 債務負担行為に基づく支出のうち公債費に準ずるものに充当する一般財源等額 | 8,115 | 510 | 1,516 | 66.4 |
| 一時借入金利息 (同一団体における会計間の現金運用に係る利息は除く) | 186 | 12 | 16 | 25.0 |
| 地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額 | 626,259 | 39,323 | 31,586 | 24.5 |
| 合計 | 594,942 | 37,357 | 29,303 | 27.5 |

※参考 実質公債費比率及び起債制限比率の推移



歳出比較分析表(平成18年度普通会計決算)

普通建設事業費の分析



普通建設事業費

| | 当該団体決算額 (千円) | 人口1人当たり決算額 | | | | |
|---------|-----------------|------------|------------|-----------|------------|-----------|
| | | 当該団体(円) | 増減率(%) (A) | 類似団体平均(円) | 増減率(%) (B) | (A) - (B) |
| H14 | 2,073,637 | 128,462 | 63.8 | 80,237 | 7.8 | 71.6 |
| うち単独分 | 1,910,966 | 118,385 | 132.9 | 48,673 | 8.6 | 141.5 |
| H15 | 2,713,239 | 169,419 | 31.9 | 85,973 | 7.1 | 24.8 |
| うち単独分 | 2,475,228 | 154,557 | 30.6 | 48,382 | 0.6 | 31.2 |
| H16 | 1,835,897 | 115,175 | 32.0 | 69,542 | 19.1 | 12.9 |
| うち単独分 | 1,561,464 | 97,959 | 36.6 | 39,366 | 18.6 | 18.0 |
| H17 | 1,692,742 | 106,408 | 7.6 | 50,707 | 27.1 | 19.5 |
| うち単独分 | 1,320,156 | 82,987 | 15.3 | 32,323 | 17.9 | 2.6 |
| H18 | 1,442,600 | 90,581 | 14.9 | 57,400 | 13.2 | 28.1 |
| うち単独分 | 905,587 | 56,862 | 31.5 | 34,972 | 8.2 | 39.7 |
| 過去5年間平均 | 1,951,623 | 122,009 | 8.2 | 68,772 | 6.7 | 14.9 |
| うち単独分 | 1,634,680 | 102,150 | 16.0 | 40,743 | 7.5 | 23.5 |